



第3回うつくしま地球温暖化防止活動推進員の会（県北の会）研修会開催

新たな年を迎えた2022年1月23日13時から16時まで県北の会の研修会がアオウゼで開催されました。冒頭、本会運営委員の赤井さんより挨拶があり、その後福島県環境共生課の富岡副主査から挨拶と新たに立案された福島県地球温暖化対策推進計画についての概要が紹介されました。推進員からは福島県のこうした施策についても学習したいとの要望が出されました。

13時30分から15時20分まで福島県環境アドバイザーでエネルギーエージェンシー・ふくしま代表の服部靖弘さんの「福島県の再生可能エネルギーの現状について」の講演があり、その後、県北の会の活動について協議が行われました。この会の運営委員を務める田崎さんから図1に示す福島学院大学の学生が作製した

SDGsかるたやJA女性組織フレッシュミズが作製したSDGsかるたを参考にしながら、SDGsの学び方を学習すると同時に、私たちがこうしたかるたを教材として作成してはどうかとの提案があり、今後検討することになりました。また、今後の研修会や、活動内容のアンケートを行い、年3～4回程度の研修会やオリジナルかるた作製などを検討することになりました。令和4年度第1回の研修会は5月に開催する予定です。

うつくしま地球温暖化防止活動推進員活動報告

地球にやさしい「ふくしま」県民会議と県は、令和3年11月27日に郡山市のビッグパレットふくしまで「ふくしまゼロカーボンDAY！」を開催しました。この会場には多くの団体や企



図1 福島学院大学の学生が作製したSDGsかるた



写真1 福島市のブースで活動する推進員

業・行政が出展していました。写真1は福島市のブースで展示・啓発活動する推進員の方達です。また、啓発活動の一つとして、このブースでもSDGsかるたが紹介されていました。写真2は福島市・E-Act ふくしまのブースの様子で、写真3はブースで紹介しているSDGsかるたで



写真2 福島市・E-Act ふくしまのブースの様子



写真3 ブースで紹介したSDGsかるた

す。幅広く推進員活動を実施するためにもこのようなツールがあると活動しやすいとのことでした。

「福島県の再生可能エネルギーの現状について」

服部靖弘さん（福島県環境アドバイザー，エネルギーエージェンシー・ふくしま代表）

講演の内容は①再生可能エネルギーの基礎②国内外の再生可能エネルギーの現状③福島県の



講演する服部靖弘さん



講演を聞く参加者の皆さん

取り組みの3項目に渡るものでした。①の項目では再生可能エネルギー（以後「再エネ」と表記）の種類毎に、構造や原理，その長所や短所がまとめられていて，とても理解しやすい内容でした。また，再エネ社会を構築するには，単に再エネの技術開発だけではなく，それを活用しやすくする効率的な電力供給網（スマートグリッド）の必要性や水素社会の在り方にも言及され，環境負荷は低減されるが，安全性の強化が重要であることなども示されました。

また，②の項目では，図2に示す通り，世界と比較して圧倒的に我が国の再エネの発電比率が小さいこと（2018年で16.9%），それは従来からの化石燃料発電を優先し，再エネを補助的にしか使用していないことが大きな要因で，再

